

まつだの四季フォトコンテスト あなたの写真で松田町の四季を彩ってみませんか?



町の大切な歴史・文化や安らぎとうるおいのある四季の風景を通して町の魅力を再認識・再発見することを目的に「まつだの四季フォトコンテスト」を開催します。

- ◆主催 松田町
- ◆賞

【一般部門(高校生～)】	【ジュニア部門(小・中学生)】
推薦1点 20,000円	推薦1点 図書カード10,000円分
特選3点 各10,000円	特選2点 図書カード5,000円分
入選12点 各5,000円	入選5点 図書カード3,000円分
佳作18点 各3,000円	
- ◆受付期間 平成26年1月6日～1月31日(土、日、祝日を除く) 8:30～17:15
- ◆応募資格 アマチュアの方限定
- ◆応募対象
 - 【一般部門は高校生以上から応募可能】
 - 【ジュニア部門は小・中学生のみ応募可能】
 - ・平成25年3月以降に撮影した、松田町の四季をテーマにした作品。
 - ・大きさは【一般部門は六つ切り判】、【ジュニア部門は2L判】。デジタル写真も可。画質は1000万画素以上のもの
 - ・合成写真、組写真、デジタル加工は不可。
- ◆応募方法 応募票(町ホームページに掲載)を印刷し、必要事項を記載の上、作品裏面に票を貼りつけてご応募ください。応募票が入手できない場合は、氏名(フリガナ)、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレス、題名、撮影場所、撮影年月日を記載した用紙を作品裏面に貼りつけてご応募ください。※応募票もしくは必要事項の記載がない作品は、審査対象外とさせていただきます
- ◆応募先
 - ※原則として、応募作品の返却はいたしません
 - 松田町企画財政課 まつだの四季フォトコンテスト担当宛て
 - 〒258-8585 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領2037番地
 - ☎:0465-83-1222
 - メールアドレス:kikaku@town.matsuda.kanagawa.jp

- ◆審査方法 主催者側と審査員で選考いたします。【審査員】西岡 修氏(日本写真家協会会員)
- ◆注意事項
 - ・写真、メッセージとも未発表作品に限ります。
 - ・応募者ご本人が撮影した作品に限ります。
 - ・人物が含まれる作品の場合、被写体の肖像権侵害などの責任は負いかねますので、必ず被写体ご本人の承諾、使用許可などをとってください。
 - 【ジュニア部門に応募する小・中学生の方は、被写体の肖像権侵害などに該当しないか保護者の方にも必ず確認した上でご応募ください。】
 - ・応募作品、応募用紙に不備があった場合は、原則、受け付けることができません。
 - ・応募に伴い取得した個人情報は以下の目的以外では使用いたしません。
 1. 当コンテストに関する連絡など
 2. 入賞作品の発表、紹介
 - ・審査に関するお問い合わせなどへの回答はいたしません。
 - ・応募規定に反する場合や入賞決定した後での違反事項が認められた場合は入賞を取り消す場合があります。
 - ・入選後、入選した方から原稿もしくは写真データを提出していただけない場合は入賞を取り消す場合があります。
 - ・入賞作品の著作権は応募者にありますが、使用権は主催者側が有しますので、主催者側が多目的に使用する場合がございます。



平成24年度推薦作品



カメラリポート



松田小学校 皆でがんばらーん



松田中学校 命の架け橋



寄小中学校 はじめてのおつかい



寄小中学校 台風の日

運動会/体育祭

町内の小中学校で運動会、体育祭が開催されました。5月25日(土)は、松田小学校の運動会と寄小中学校の運動会が行われ、6月1日(土)は松田中学校の体育祭が行われました。当日は天気に恵まれ、児童・生徒たちが元気よく各種目・演技に参加する姿が見られました。

夏の交通事故防止運動

7月11日(木)～20日(土)

夏のレジャーなどによる過労運転や夏特有の解放感による無謀運転などにより、交通事故が多発することから、町民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの順守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

安全は、心と時間のゆとりから交通ルールを守って、夏を楽しく安全に

重点

- 1 過労運転・無謀運転の防止
- 2 子どもと高齢者の交通事故防止
- 3 自転車の交通事故防止

開成町と松田町は5月20日(月)、松田自動車学校で自転車の交通安全教室「チリリン・スクール」を開きました。教室は、高齢化社会が進み、高齢者の死亡事故が増えている現状に対し、少しでも事故を減らそうと取り組んだもので、両町の高齢者を中心に39人が参加しました。開成町と松田町が合同で開催するのは初めてで、県警本部交通安全教育隊、松田警察署、両町の交通指導隊などが協力しました。

チリリン・スクール開催



参加者は、自転車に乗るときに注意する交通標識、自転車用ヘルメットの安全性などの講義を受け、その後は、JAFシートベルトコンビンサー※を利用し、乗車中の衝突事故を疑似体験しました。そのほかにも、夜間視力や動体視力の計測コーナーなどを設け、暗闇に目が慣れるためには数十秒の時間がかかることなど、普段はあまり意識しないことを改めて体感しました。※時速約5kmでの衝突実験を通じてシートベルトの重要性を学ぶ体験車両